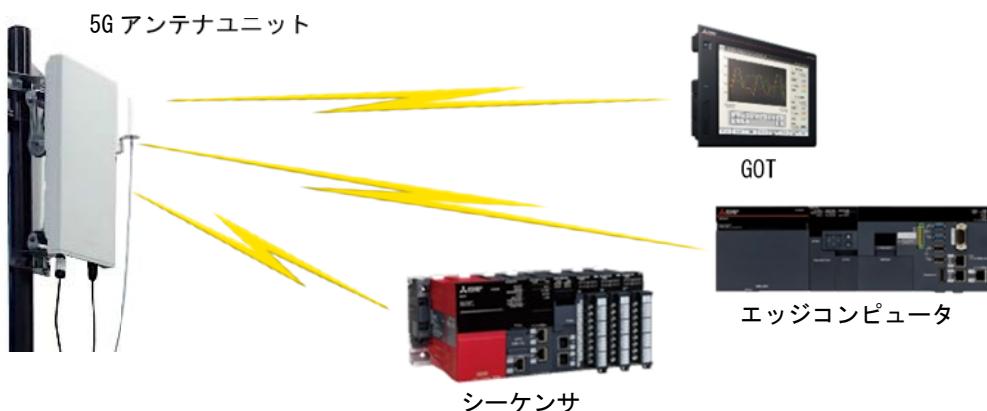


NEWS RELEASE

ローカル5Gシステムのワンストップ提供などの新たなビジネスやサービスを創出
ローカル5Gの実証実験を開始

三菱電機株式会社は、総務省から第5世代移動通信システム（以下、5G）の実験試験局免許を取得し、新たなビジネスやサービスの創出に向けたローカル5G※の実証実験を当社の名古屋製作所（愛知県名古屋市）で開始しますのでお知らせします。今回の実証実験では、ローカル5G基地局と当社のFA（ファクトリーオートメーション）製品との無線通信伝送性能の技術検証を行い、今後、実証実験で得た知見などをFA製品をはじめとする幅広い製品やサービスで活用していきます。

※ 地域や産業などの個別のニーズに応じて自治体や企業などが利用できる特定エリア向け5G



実証実験で使用する5GアンテナユニットおよびFA製品

背景・ねらい

超高速・超低遅延・多数同時接続を特長とする5Gは、将来の社会インフラを支える技術として期待されています。5Gの周波数帯は主に通信事業者に割り当てられますが、IoTの普及など通信ニーズの多様化が進んでいることなどから、総務省は自治体や企業も利用可能な5Gを「ローカル5G」として2019年12月に制度化しました。

当社では、これまで培ってきた通信システム技術や5G関連の基礎技術などを活用し、ローカル5Gシステムと自社製品を組み合わせた、ワンストップで構築・提供できるソリューションの開発を進めていますが、今般、5Gの実験試験局免許を取得し、ローカル5Gの実証実験を開始するものです。今後、実証実験で得た知見などを総合電機メーカーとしての強みである幅広い製品やサービスに活用するとともに、顧客やパートナー企業との連携による新たなビジネスやサービスの創出を目指します。

今回の実証実験の概要

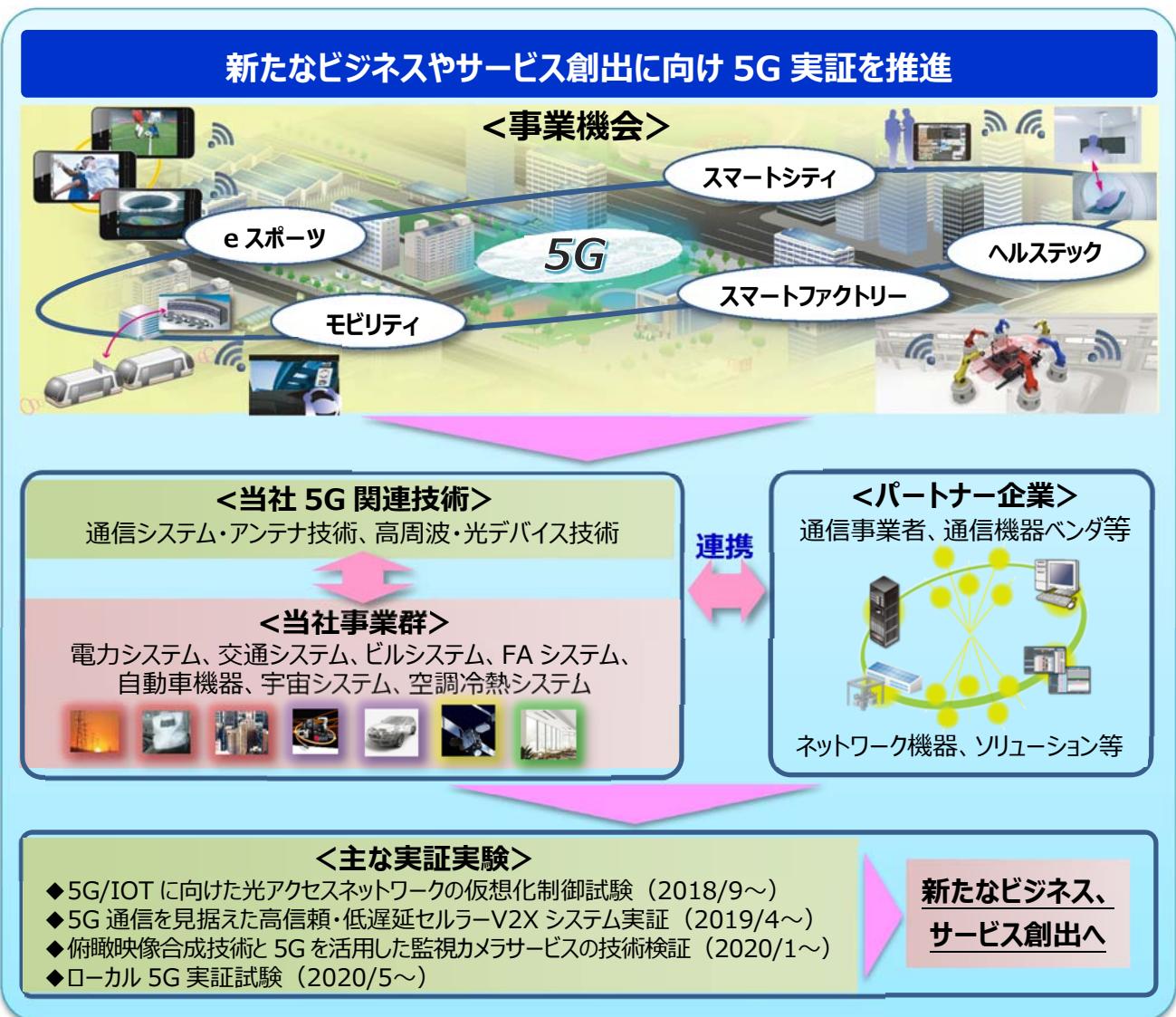
開始日	2020年5月18日
場所	三菱電機株式会社 名古屋製作所（愛知県名古屋市東区矢田南五丁目1番14号）
実証実験の内容	1. ローカル5G基地局を介したFA製品同士の5G通信接続および5G通信性能の技術検証 2. ローカル5Gユースケースの検討（遠隔での運用保守作業支援、AR/VRを活用した作業効率化など）
使用周波数	28.2GHz～28.3GHz

今後の展開

今後、当社の他事業所での実証実験も順次開始するとともに、当社事業所や研究所へのローカル5G環境の整備を推進していきます。また、新たなビジネスやサービスの創出に向け、顧客やパートナー企業との共同研究や実証実験の場として「5Gオープンイノベーションラボ」を2020年度中に当社の情報技術総合研究所（神奈川県鎌倉市）に設置する予定です。

当社の 5G 活用に向けた取り組み

当社は、新たなビジネスやサービス創出に向け、通信システム・アンテナ技術、高周波・光デバイスなどの 5G 関連の基礎技術を活用し、パートナー企業と連携して、5G の利活用検討や実証実験を進めています。



お客様からのお問い合わせ先

三菱電機株式会社 ビジネスイノベーション本部
ビジネスイノベーション戦略部
TEL 03-3218-4885 FAX 03-3218-2912